

令和6年度
秋季特別展

内部^なを^か視^みる

（文化財とX線）



※「国（文化庁保管） 武蔵埼玉稲荷山古墳出土金錯銘鉄剣X線写真」

●開催期間／令和6年10月26日（土）～11月17日（日）

（期間中の休館日はありません）

●開催場所／法輪館2階 展示室 ●開館時間／9時～17時（入館は16時30分まで）

主催 世界遺産 元興寺 公益財団法人 元興寺文化財研究所

文化財の調査・研究・保存修復におけるX線透過撮影は、その文化財の内部を透視することで、劣化の状況や内部構造、部材の組み合わせ、別素材による加飾の有無だけでなく、過去の修理状況も明らかにできる非破壊の調査方法で、その歴史は古く明治の頃から文化財の調査に用いられてきました。

昭和53(1978)年に、当研究所で保存修理中であった埼玉県稲荷山古墳より出土した鉄剣(昭和58年国宝指定)から115文字の金象嵌の銘文(表面57文字・裏面58文字)を発見したことが契機となって、埋蔵文化財の調査や修理の現場で広く利用されるようになりました。今日では埋蔵文化財だけでなく、仏像等の彫刻や美術工芸品、民俗文化財、土層など多くの文化財に関して、全国各地で数多くの成果が得られています。

また、平成22(2010)年には、当研究所のX線透過撮影により国宝東大寺金堂鎮壇具の金銀荘大刀二振りから「陽劔」「陰劔」と象嵌された文字が確認され、国家珍宝帳に記載された除物であることを明らかにする歴史的発見がありました。

本展覧会では、当研究所で文化財修理の一環として行ってきたX線透過撮影の成果を中心に、文化財の調査成果や修理の一端を紹介します。

主な展示物

龍文銀象嵌鞘尻金具(大阪府指定有形文化財 八尾市愛宕塚古墳 八尾市所蔵)
埼玉稲荷山古墳出土辛亥銘鉄剣 複製(埼玉県稲荷山古墳 国立歴史民俗学博物館所蔵)
聖徳太子二歳像(「南無仏太子」 奈良県指定文化財 元興寺所蔵)
紙製地藏菩薩立像(「おかみさん地藏」 元興寺所蔵)

研究員による展示解説

開催期間中の土曜日・日曜日・祝日
14時～(30分程度)
10月26日・10月27日・11月2日・11月3日・
11月4日・11月9日・11月16日・11月17日

展示構成

- 第Ⅰ章 文化財とX線透過撮影
- 第Ⅱ章 元興寺文化財研究所におけるX線透過撮影
- 第Ⅲ章 今後の展望

特別講演会

元興寺文化財研究所におけるX線事始め

令和6年11月10日(日)

- 開催場所／元興寺 国宝禅室
- 開催時間／13時30分～15時(開場13時)
- 定員／50名(当日受付・無料) ※元興寺入山料は必要

講師

増澤文武氏

(公財)元興寺文化財研究所名誉研究員・同理事

〈講演会終了後に研究員による展示解説を行います〉

- 観覧料／元興寺入山料に含まれます
(大人600円、中高生300円、小学生100円)

問い合わせ先

公益財団法人 元興寺文化財研究所
☎:0742-23-1376(平日9時～17時)

交通案内

- ◎近鉄奈良駅から 徒歩約15分 / タクシー約5分
- ◎J R奈良駅から 徒歩約20分 / タクシー約5分
- ◎奈良交通バス 市内循環(黄色いバス)田中町(ならまち南口)
下車徒歩約8分
天理駅・下山・窪之庄行「福智院町」下車徒歩約5分



主催 世界遺産 元興寺 公益財団法人 元興寺文化財研究所